

2026 年 8 月 14 日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号: 3624 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 管理本部長
横谷 玲音
(TEL 03-5354-3351)

「継続企業の前提に関する注記」の解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2026 年 9 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」(以下「本決算短信」といいます。)において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「継続企業の前提に関する注記」の記載に至った経緯

当社グループは、前連結会計年度から重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が続いていたことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

2. 「継続企業の前提に関する注記」の解消の理由

当該状況を改善するため、資金調達及び収益基盤の強化に取り組んでまいりました結果として、当社は、2026 年 5 月 29 日付で、株式会社コンヴァノ（以下「コンヴァノ社」といいます。）を割当先とする払込金額 9 億円の第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）及びコンヴァノ社を貸付人とする融資極度額 30 億円のコミットメント型タームローン・ファシリティ契約（以下「本ファシリティ契約」といいます。）から構成される、合計 39 億円規模の資金調達パッケージを公表いたしました。その後、2026 年 7 月 2 日開催の当社臨時株主総会において本第三者割当増資に係る各議案が承認可決され、同日付で払込みが完了しております。

これにより、本第三者割当増資による資金に加え、本ファシリティ契約に基づく資金調達枠を確保しております。当社グループは、本資金調達パッケージを反映した今後の事業計画及び資金繰り計画について保守的に検討した結果、払込み完了日の翌日から少なくとも 1 年間の事業継続に必要な資金を確保できる見通しであり、資金繰りに係る重要な不確実性は解消されたものと判断いたしました。

なお、重要な営業損失等の状況は継続していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況は引き続き存在しておりますが、本資金調達パッケージによる資金調達枠の確保により、当該状況に係る重要な不確実性は認められないものと判断し、本決算短信において「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。

3. 今後について

当社グループは、引き続き、利益確保の体制強化及び収益構造の改善を着実に推進し、早期の営業黒字化と安定的な収益基盤の確立に努めてまいります。

株主及び投資家の皆様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、これまでご心配をおかけいたしました。今後とも企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先>

アクセルマーク株式会社 経営管理部

メール：ir@axelmark.co.jp